

タンポポだより

2018
春号
vol.24

友の会会員の皆さまと記念館を結ぶ会報誌

タンポポの花咲くへんろみち

(真民57歳頃)

春になると

八十八カ所のへんろみちに

タンポポが一時に花をつけ

旅ゆく人に呼びかける

明るいいで生きて下さい

どんなつらいことでも

堪えていつて下さい

わたしたちをぶらん

ふまれても食いちぎられても

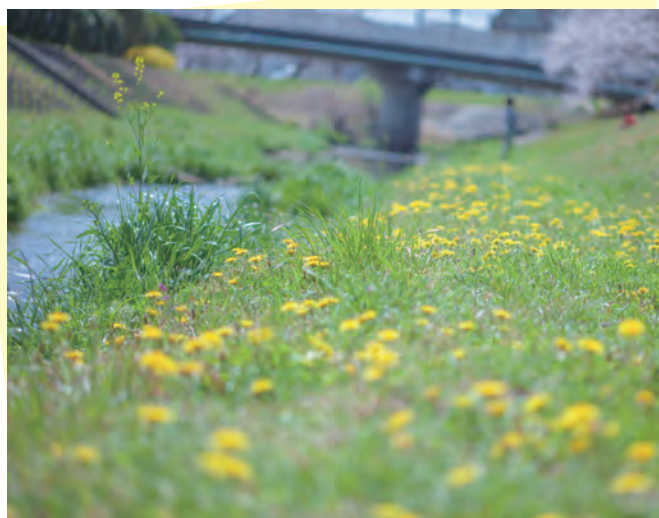
しつかと大地に根をおろしています

念ずれば必ず花ひらく

み仏の教えを

しつかと胸に刻んで巡礼を続けて下さい

明日もお天気です



館長エッセイ

【第二十四回】

「坂村真民という生き方」とは

真民詩とわたし

真民先生は生きる杖、みちしるべでした

よねだ たかひろ
米田 孝弘 さん

真民詩を読み解く ②③

危機の中に身を置き、緊張感を持って生きる
「嵐と詩人」

坂村真民記念館開館6周年記念特別展

「坂村真民という生き方 ～坂村真民の生涯を
貫いた生き方とは～」展

コーヒーブレイク

愛媛県吉田町の風物を残した
版画家・小林朝治と真民さん

「坂村真民という生き方」とは

いつも自分自身に「この生き方で良いのか」と問い続け、自分の信じた道（一本の道）を愚直に貫き通した坂村真民の生き方は、若い時から、いろいろな出来事や様々な人の影響を受けて形作られたものです。

今回記念館では、こうした「坂村真民という人間」と「坂村真民の生き方」を総合的に捉え、『坂村真民という生き方』を解明し、その特徴について思想的な背景も含めて詳細に分析し、そこから生まれた真民詩の魅力を分かりやすく展示解説しています。

「坂村真民という生き方」とは、坂村真民が生涯を如何に生きたかということと、坂村真民の人間性が如何に形成されたのかということを総合的に併せて、「坂村真民が坂村真民であるための生き方」を指します。

今回の企画展では、「坂村真民という生き方」がどのように形成された

のか、大きな影響を与えた人物や出来事を6つの章に区分して詳細な展示解説を行っています。

そして、「坂村真民という生き方」は、こうした多くの方々の影響と様々な人生体験を経て、その過程で真民自身が悩み苦しみながら、自分の生き方を模索し続けてきた結果、辿りついたものなのです。

それは日々忘ることなく自分自身を厳しく鍛え、いつも自分自身に「この生き方で良いのか」と問い続け、最後まで、今の自分とこれまで書いた詩に満足することなく、「しつかりしろ、しんみん」「まだまだいかん」「もっといい詩を書くのだ」という言葉を自分に投げかけ、それに如何に答えて生きていくかを模索した結果なのです。

そういう中で、坂村真民は、一遍上人の生き方を知り、一遍上人の思想

に触れることによって、坂村真民という人間の背骨に一本の大きな柱が貫かれ、それが「坂村真民の生き方」となっていくのです。そして、その生き方を貫く中で、「坂村真民という生き方」が形作られていったのだと考えます。

坂村真民が一遍上人を敬仰したのは、一遍上人がお釈迦様の生き方に、最も近い生き方をした人であったからだと言えます。

坂村真民にとって宗教は、仏教を根底に置いています。キリスト教、神道等の影響も大きく受けており、宗教そのものにはあまりこだわっていません。

人間が生きていくとき、最後の最後に縋る人、弱いままの人間にそと寄り添い、共に歩いてくれる人の存在を信じていることが出来るかどうか、という信仰の大切さを最も



重視していました。

そういう意味で、一遍上人の生き方は、既存の宗教を超えた「宗教の最も根底にある大切なもの」を実践する生き方であると、坂村真民は考えたのです。

そして、その生き方に向かって、どう進めばいいのかを、毎日模索する中で真民詩が生まれてくるのです。

真民先生は生きる杖、みちしるべでした

よねだ たかひろ
米田 孝弘 さん(76歳)

愛媛県の人権・同和教育の第一人者である米田孝弘さん。真民詩に込められた人権・同和思想に強く打たれ、教育の場や講演などで真民詩を伝えてきた。一遍上人の言葉から名づけた自宅「一心庵」には、真民詩を刻んだ3基の碑が建つ。



▶講演の際、必ず持参した笠。「講演は私の『人権教育巡礼』だからと、真民先生に書いていただきました」



「一心庵」には60番碑のほか、「共に」「生きることは」の詩碑がある

◆「尊いのは足の裏である」に感銘

若い頃から人権・同和教育の推進活動に取り組んでいた私が真民詩と出会ったのは、昭和50年代の終わりごろでした。活動の仲間だった田中康雄先生から贈られた書籍の一冊に、真民詩集があつたんです。田中先生の奥様は真民先生の長女・梨恵子さんです。

「尊いのは足の裏である」の言葉はシヨックでした。同和教育に光が射したと感じて、すぐにタンポポ堂を訪ねました。

仏教詩人といわれているから少々堅苦しいのでは?と思いきや、実に気さくで、「一緒に手を携えてがんばっていきましょう」と言われたのです。その言葉に勇気をもらいました。

◆60番碑の建立

昭和61年には、先生から贈られた一遍上人の言葉「心を一つにして乱さず(二心不乱)」から名づけた自宅「一心

庵」の庭に、「念ずれば花ひらく」60番碑を建てました。部落差別のない社会を作る、その願いが形になった碑です。

碑は叫ぶ 坂村真民

第六十番の碑は叫ぶ

不動明王のように強く

馬頭観世音のように烈しく

世尊の説かれた

差別のない世の実現を

暗かつた谷間に

本当の光が射してくる日の到来を

橋のない川に橋がかかり

手を取り合つて生きてゆく

真の和の自覚を

発願に燃え

建ち続く碑よ

苦しんできた人たちの

花ひらく時を念じ

風と共に叫べ

昭和六十一年八月三日

一心庵にて

建立の年から3年ほど、同和教育関係者が集まって「碑のつどい」を開催し、先生のお話を拝聴しました。

◆同和教育への理解を深める

真民先生の詩は、悲しさや辛さを突き抜け、父母兄弟の匂いのする温かいものが押し寄せてきます。清らかさ、優しさ、明るさがあり、どん底から

立ち上がれる、逞しさを感じるような不思議な力があります。そして、底辺の人たちのことを考えていることが、その詩から痛切に感じられました。

先生と出会ってから、私は教育の場や講演などで、真民詩と結びつけて同和教育を語ってきました。そうすると、難しい話もすんなりと理解してもらえる。先生の力をお借りすることで、同和教育に対する理解が非常に深まるのです。詩に感動した多くの人が同和教育に理解を示し、積極的に取り組んでくださるようになりました。

先生とお会いしなければ、私の同和教育はかなり違っていたと思います。口先だけのものになっていたでしょうし、長く関わることもなかったでしょう。私にとって先生は、生きる杖であり、みちしるべでした。先生との出会いがなければ、今の自分はありません。

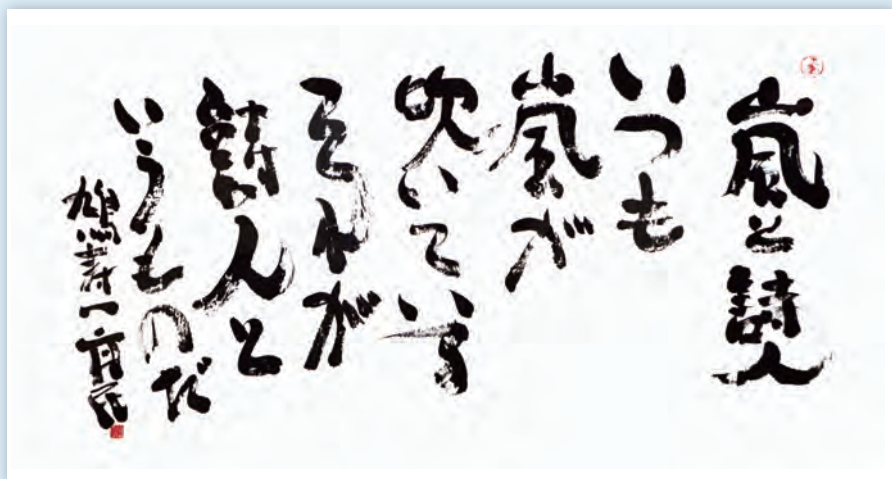


砥部中学校の碑。同校での教頭時代、町民でもある偉大な詩人の存在を伝え、詩碑建立を働きかけた

【お詫びと訂正】前号の「真民詩とわたし」に誤りがありました。「有海朴の会」は「有明朴の会」の誤りです。お詫びして訂正いたします。

危機の中に身を置き、緊張感を持って生きる

「嵐と詩人」



この詩は、坂村真民が84歳の時に書いた詩です。

坂村真民の詩には、こういう気持ちを書いた詩が何篇もあります。

79歳の時の詩に、「危機の中で」という詩があります。

危機の中で

危機の中で

人は成長し

危機の中で

人は本ものになる

だから危機を避けるな

むしろ危機に立ち向かう心を養え

冷たい烈風の中を

行きつつ思う

坂村真民は、本当にいつも自分自身に對して、厳しい生き方を課して、生きていました。

「普通の人と同じように、生きていたのでは、人に感動を与える詩は書けない」というのが持論でした。

「創造する者は絶えず危機の中に身を置かねばならない」とも言っています。

だから、いつも、自分を危機の中に置いて、緊張感を持って生きることが、いい詩が生まれてくる条件なのだと考えていたのです。

それを「いつも嵐が吹いている」という表現で言っているのです。

90代後半に書かれた詩「断崖」という詩は、人生の最後までその気持ちを持ち続けて生きている真民の姿そのものを詠った詩です。

坂村真民の詩は、こういう嵐の中や断崖絶壁に身を置いて書かれた詩であるからこそ、また、読者には、ひしひしと、その真民の想いが伝わってくるのではないだろうか。

断崖

遠い遠い

海の果ての

断崖に立つ

一羽の鷹

それが

今のわたしの

姿であり

生き方である

「坂村真民という生き方 ～坂村真民の生涯を貫いた生き方とは～」展

期間 平成30年 3月3日(土)～6月17日(日)

〈開催趣旨〉

開館より6年を迎える今年は、これまでの企画展と特別展をもう一度見直して、「坂村真民という詩人の生き方」を総合的に捉え、「坂村真民という生き方」というテーマで、坂村真民の独特な生き方とその特徴、そしてそこから生まれてくる「真民詩」を、あらゆる角度から見つめ直して、真民詩をより分かりやすく、より深く解説しようと試みることにしました。



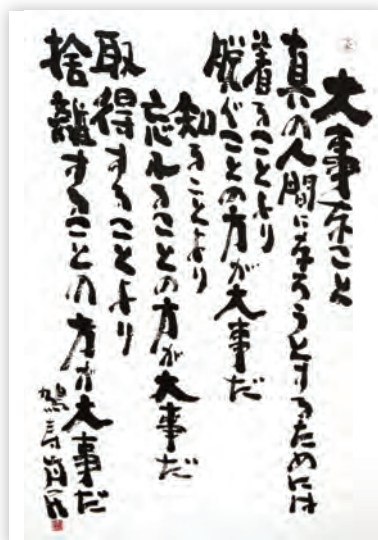
〈展示構成〉

サブタイトル	主な展示作品
第1章 坂村真民と二人の母	念ずれば花ひらく 遠い雲
第2章 大乘寺での修行	エリ・エリ・レマ・サバクタニ かなしみはいつも
第3章 一遍上人と共に生きる	一遍智真 尊いのは足の裏である
第4章 森信三先生との出会い	森信三先生の三喝 人生二度なし
第5章 教師として生きる	悩めるS子に 若者よ
第6章 家族と共に生きる	飯台 三人の子に あの時のことを
第7章 坂村真民という生き方	六魚庵箴言 しんみん五訓 嵐と詩人

〈展示概要〉

第1展示室と第2展示室を連続する一つの展示空間として、「坂村真民という人間を形作った出来事や影響を受けた人、家族等」について、それぞれについての解説パネル、それらを特徴的に表現した詩を展示します。

そして、最後のコーナーでは、「坂村真民という生き方」を総合的に理解していただけるような「真民詩」を中心に展示して、悲しみをともに悲しみ、困難を乗り越え、前に向かって生きる人へ「生きることの大切さ」を詠った坂村真民の詩を展示することとしております。どうぞ、多くの方々のご来館を心からお待ちしております。





愛媛県吉田町の風物を残した 版画家・小林朝治と真民さん

一級の芸術や文芸作品に魅せられ、感動を詩に詠んだ真民さん。
その一人に小林朝治という版画家がいました。

小林朝治は長野県須坂市生まれの

眼科医であり版画家。昭和2年、愛媛
県吉田町の町立吉田病院眼科医長に
就き、昭和6年まで、医療のかたわら
吉田の風物を油彩や版画に残しまし
た。その一つ「吉田風物画帖」は、版画
に詩をそえた56枚の詞画集で、素朴な
詩情をたたえています。

真民さんは吉田時代（昭和25～31
年）、朝治の作品に夢中になりました。

小林朝治

わたしが見たのは

吉田風物詞帖

吉田風物画帖

信濃玩具版画集

小林朝治版画集

その他木彫一点

油絵二点

版画数枚

あなたは眼を病む人の眼を治した

そうしてあなたの眼は

常に澄み常に冴え常に物を見詰めた

岸田劉生のタッチを思わせるあなたの絵には

常に鑿^{のみ}で鍛えた鋭さがこもっていた

ああこの四、五日わたしは

あなたの話ばかりしていた

あなたの絵を版画を探してばかりいた

そうしてどうとう今日は

あなたの遺作数点を探しあてたのだ

全く知らぬ人の宅^{うち}を三軒尋ね

食事中の人の家で版画一つ

疲れて寝ている人を起こして木彫一点

店の仕事をやめて貰って

油絵や版画集を一度に見せて頂いた

それにあなたが勤めていた病院の外科室には

もう一点作品があるという

それは明日見にゆこう

日曜画家とあなたは自分を言ったが

どうしてどうして

あなたの作品は陸離として

今でも鶴のように超然と

天の一角を飛んでいる

心を掴まれたものを追ひ求める真

民さんの、なんと大きな熱量でしょう。

「吉田海蔵寺を訪ねて 小林朝治を偲

ぶ」では次のような一節も。

その夜あなたの最後のさまを

人伝^{ひとづた}に聞いたのであるが

一服の鎮静剤を飲んで寝たせいか

割によく眠れて

あなたの悲哀よりも

あなたの純粋さに

わたしは強く心ひかれていた

今日はあなたが勤めていた病院へ

あなたの版画を見にゆこう

あなたの悲しい鑿の跡よりも

版木に塗りつけた

あなたのぎりぎりの美心に触れにゆこう

朝治は吉田病院を去って故郷・須
坂に帰り、開院。昭和14年に忽然とこ

須坂版画美術館（長野県須坂市大字野辺1386-8 ☎026-248-6633）は、小林朝治の版画作品と、彼が全国の版画家たちとの交流により収集した作品を、所蔵している。

の世を去りました。早世したため、生前、広く知られることはありませんでしたが、中央画壇に異彩を放った版画は、今も観る者を捉えます。真民さんは朝治の作品に、相通じる魂を見たのではないのでしょうか。

朝治が吉田で版画を作るようになったのは、愛媛出身の版画家・畦地梅太郎の影響だといわれており、そのあたりも含めて朝治のことは松山出身の画商・洲之内徹の「気まぐれ美術館 帰りたい風景」に書かれています。畦地梅太郎もまた真民さんと関わりがありますが、彼については次の機会に。

（文／タンポポだより編集部 森）



「吉田風物画帖」より転載 海蔵寺



経営理念

最大の会社より最良の会社
人さまに喜んで頂く仕事と自分づくりをする

[パチンコ店経営]

株式会社 宣翔物産

〒812-0857 福岡市博多区西月隈3-6-17 Tel 092-475-1151

[関連グループ会社]

株式会社 クリオ

ホテルクリオコート博多
〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街5-3 Tel 092-472-1111



『木は氣なり』

百年の木には百年の氣が宿り

千年の木には千年の氣が宿る

鳩寿四 真民詩

南木曾木材産業株式会社

〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻1187 代表取締役 柴原 薫

TEL 0264-57-4000 FAX 0264-57-2006 <http://www.nagiso.co.jp> メール kao@nagiso.co.jp

砥部の地で、医療、看護、介護の三位一体を実現する砥部病院



介護付有料老人ホーム To-be

78居室/20㎡～24㎡(1F&2F)



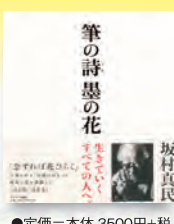
住宅型有料老人ホーム
モンレーヴ砥部

18居室/2LDK 40㎡～90㎡(3F)

伊予郡砥部町麻生51-1(砥部病院横) TEL.089-969-0085 砥部病院ケアサービス株式会社

サンマーク出版 坂村真民の本

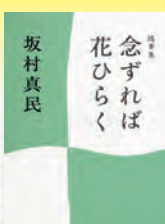
詩墨集
筆の詩墨の花



●定価=本体 3500円+税

坂村真民記念館
所蔵の作品を満載!

随筆集
念ずれば花ひらく



●定価=本体 1800円+税

初めての
随筆集を復刻!



10万部突破の
超ロングセラー!

詩集
念ずれば花ひらく



詩集●定価=本体各1000円+税

サンマーク出版

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-16-11
TEL 03 (5272) 3166 FAX 03 (5272) 3167
<http://www.sunmark.co.jp>

詩集二度とない人生だから



いま届けたい、生き方の道しるべ

医療法人 徳真会グループ



医療法人
徳真会グループ

「医療は人なり」の診療理念のもと

患者さま第一主義の歯科医療グループです。

国内にデンタルクリニック31ヶ所、メディカルクリニック1ヶ所を展開し、年間90万人の治療に携わっております。

徳真会 検索
www.tokushinkai.or.jp



坂村真民記念館友の会 会員募集中

坂村真民記念館友の会は、会員の皆様と記念館との交流を図り、記念館を共に支え、育てていくことを目的とした会です。入会された方には会報と、真民グッズなどの記念品を贈呈します。

パスポート会員 年会費2000円	特典 会員証で入館無料1人 ほか
一般会員 年会費5000円	特典 会員証で入館無料1人 ほか
特別会員 年会費10,000円	特典 会員証で入館無料2人 ほか
法人会員 年会費10,000円	特典 会員証で入館無料2人、観覧券10枚贈呈 ほか

詳しくはホームページをご覧ください [坂村真民記念館 友の会](#) [検索](#)

〈編集後記〉 今年の特別展は、「坂村真民という生き方」を総合的に捉え、坂村真民という詩人の全体像を詳細かつ分かりやすく展示・解説しようと試みたものです。これまで5年間の蓄積と新たな資料の発掘により、坂村真民の97年の生涯を一枚のキャンバスに描き切ろうという試みが、成功したかどうかは皆さんの判断に委ねますので、どうかご来館くださり、この試みについてご批評ください。皆様のご来館を心からお待ちしております。(西)

タンポポだより vol.24 春号

平成30年3月1日発行

発行元／坂村真民記念館友の会事務局

〒791-2132 伊予郡砥部町大南705 坂村真民記念館内

TEL089-969-3643 FAX089-969-3644

〔坂村真民記念館〕

開館時間／9～17時(入館は16時30分まで)

休館日／月曜(月曜が祝日の場合は翌日)、12月29日～1月1日

入館料／65歳以上300円、一般400円、高校生・大学生300円、小・中学生200円 ※15人以上の団体は割引あり